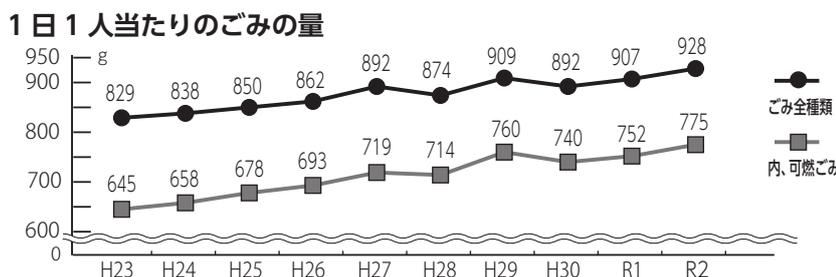
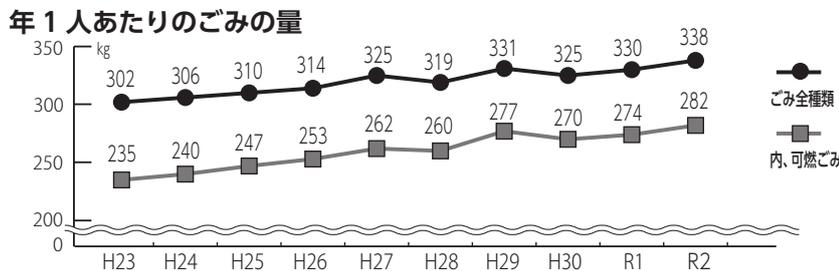
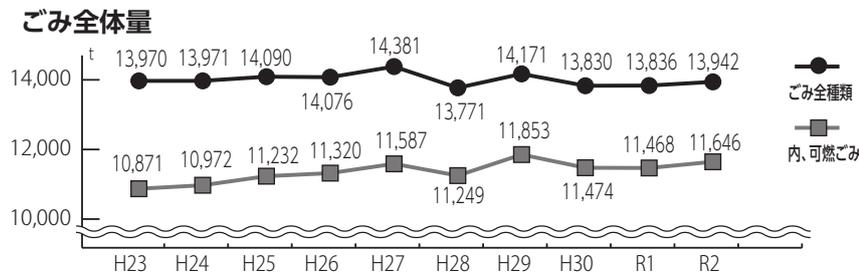


郡上のごみ削減について考えてみませんか！

現在、郡上市では「脱炭素社会」の実現に向けた取り組みを進めています。その実現に向けては、ごみ削減について考えることが大切です。左記のグラフはごみ全種類（可燃・資源・埋立）と、その内の可燃ごみの推移になります。



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
人口(4月1日時点)	46,156	45,537	45,407	44,732	44,158	43,153	42,724	42,467	41,810	41,179	
ごみ全体量 単位:t	全種類	13,970	13,971	14,090	14,076	14,381	13,771	14,171	13,830	13,836	13,942
	可燃ごみ	10,871	10,972	11,232	11,320	11,587	11,249	11,853	11,474	11,468	11,646
年1人当り 単位:kg	全種類	302	306	310	314	325	319	331	325	330	338
	可燃ごみ	235	240	247	253	262	260	277	270	274	282
1日1人当り 単位:g	全種類	829	838	850	862	892	874	909	892	907	928
	可燃ごみ	645	658	678	693	719	714	760	740	752	775

ご覧のように、市内のごみの処理量は微増・微減の状態、ほぼ横ばいの状況となっています。市民のみなさんには、ごみ減量に向けご協力をいただいているところですが、郡上市は人口減少が続いているため、市民一人当たりのごみの排出量は増加傾向にあるといえます。



「私たちの生活が便利になるとごみは増えていく!？」

家庭から出るごみの量が増えた理由の一つとして、使い捨て商品が増えたことやスーパー、コンビニなどで売っている食品のほとんどがビニール等で個別包装されていることが大きな要因と考えられます。また、紙おむつなども一度使ったらそのままごみになってしまいます。生活雑貨や文房具などが安く買えるようになったことで、最後まで使い切ることなくごみとして捨ててしまうこともごみが増える要因の一つとなっています。少人数の家族が生活するには大変便利となっていますが小分けの商品は、包装の関係で多くのごみが発生する場合があります。地球温暖化等の環境問題が大きな課題となっている今、私たちにできることを考え、行動しましょう。

ごみ減量のため、私たちができる対策について

郡上市一般廃棄物処理計画において「4R運動」の推進をメインとして「ごみ減量」への取り組みを推進しています。

- 1 番目に **リフューズ（断る）** 不要な物を断る
- 2 番目に **リデュース（減らす）** ゴミになる物を減らす・長く使える物を選ぶ
- 3 番目に **リユース（繰り返し使う）** 再利用する
- 4 番目に **リサイクル（再生利用）** 再資源化する

という4つの行動について、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を理解し、ともに考えて行動する取り組みです。



4R運動について
今一度考えましょう!!

また、市では「脱炭素社会郡上」の実現を目指しており、郡上クリーンセンターで燃やすごみの量を減らすことやリサイクルをする取り組みが必要となります。

日々の生活の中で一人ひとりが心がけることでごみは削減されていきます。

※「脱炭素社会郡上」とは、「豊かな森と水を育み、やさしい人々が暮らす郡上」を次世代に継承するため、身近な環境負荷削減を目的として、市民・事業者・行政が一体となり、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを行うものです。ごみの削減は温室効果ガスの削減に大きく作用すると言われています。

郡上北高等学校と食品ロス削減に関する連携協定を締結

Gumotta連携協定調印式



「郡上もったいないプロジェクト」

市では、「郡上もったいないプロジェクト」(Gumotta^{グモッタ}という。)を立ち上げ、飲食店や家庭等から排出される食品廃棄物の削減に取り組んでいます。令和3年4月30日に、県立郡上北高等学校と食品ロス削減に関する「Gumotta連携協定」を締結しました。今後は、協定に基づき、互いに連携・協力しながら食品ロス削減に向けた取り組みを推進していきます。